

UK

UK REPORT

## New Products

レスパー ReSPR 3001 & 50  
／共和医理科  
〈業務用空気清浄機〉

共和医理科から発売された“レスパーシリーズ”は、NASAが開発した空気浄化技術（世界初 NCC テクノロジー異種光触媒＋低濃度イオン）を搭載した最新の空気浄化装置です。業務用なのでポータブルタイプでも強力で、確かな除去力でウイルス・細菌・有害粒子を分解除去します。

## 【特徴】

- 最新テクノロジー「NCC テクノロジー」とは、ハニカム状のセルに特殊金属をコーティングし、広域波長 UV ランプとの光触媒反応により、空気中の水分から過酸化水素（H2O2）のイオン等を発生させるテクノロジー。NASAの国際宇宙ステーションでも採用された、自然界の空気を浄化するプロセスの研究から生まれた、人のカラダにやさしい技術です。
- レスパーの NCC セルを通過して生まれた微粒子イオンは、微細な有害粒子（ウイルスやカビや臭い）に直接アタックし、根本原因を分解します。空間の隅々まで効果が行き渡るとともに、ドアノブや椅子など、人が直接触れる部分の表面も浄化します。
- さまざまな細菌やカビが短時間で激減し、また空气中を浮遊するウイルスにも効果的です。

標準価格＝3001 タイプ 280,000 円  
50 タイプ 100,000 円

アイコン隣接面用ミニキット  
／ヨシダ  
〈歯面コーティング材〉

ヨシダから7月21日に発売される“アイコン (Icon) 隣接面用ミニキット”は、「切削」ではなく「補強」で、エナメル質を守る歯面コーティング材（低粘度光重合型レジン）です。歯面や隣接面に生じるホワイトスポット（白斑）に適用し、流動性の高いレジン（アイコン・インフィルト）を組織に浸透させることで、エナメル質からミネラルの溶出を防止します。付属の隣接面用チップを使用することで、隣接面に対して容易に塗布することが可能です。

## 【特徴】

- ホワイトスポットが生じやすい矯正治療中（または治療後）の患者さんや、小児への使用に有効です。
- 隣接面用チップ（アプリケーター）は、1枚40μmのフィルムを2枚重ねてあり、1つのチップの厚みは80μmです。
- 隣接面用ミニキットと併売して、歯面用に最適な歯面用ミニキット（2セット入）もあります。
- 隣接面用ミニキットで約8歯分の使用、歯面用ミニキットで約8～12歯分の使用が可能です。

標準価格＝  
ミニキット（2セット入）33,500 円

センシティブ &  
センシティブワイブ／ヨシダ  
〈表面除菌剤〉

ヨシダから発売された“センシティブ”と“センシティブワイブ”（ドイツ：デュールデンタル社製）は、材質に配慮した表面用の除菌剤です。優れた除菌洗浄力で、約1分で素早く作用します。チェアユニットやライトハンドル、キャビネットなどの除菌洗浄に効果的です。

## 【特徴】

- アルコール含有量が少ないため、材質にやさしく、アクリルガラスと合成皮革にも使用できます。
- 溶液タイプは、スプレー容器などに詰め替え、清潔な布やペーパータオルに付けて、表面が原液で湿るように拭きます。
- ワイブタイプは、丈夫で破れにくいワイブに原液が浸みこんでいます。サイズも大きく（175×250mm）、パッケージから取り出して手軽に使用でき、様々な用途に有効です。
- 有効成分は、アルコール、第四級アンモニウム化合物。

標準価格＝  
センシティブ（容量2.5L入）8,700 円  
センシティブワイブ（50枚入）2,400 円

## My Recommendation

『プロデスター』  
〈山八歯材〉

標準価格＝9,000 円

## 高機能かつ使いやすい石膏鉗子！

今回紹介させていただく商品は、山八歯材工業㈱から発売されております高機能石膏分割鉗子『プロデスター』です。この石膏鉗子の特長は、

- ①軽量かつ鉗子の開閉が片手で容易に行えます。
- ②プラスチックの取っ手は握りやすく、手が痛くなりません。
- ③抜群のグリップ力があり、刃先まで手が滑らない安全設計です。
- ④刃先はステンレス製を採用し、鋭い刃先は石膏を逃がしません。
- ⑤全長は180mm、刃先開口幅は30mmです。

ご使用いただいた先生や技工士様からは、「グリップが良く片手で簡単に作業出来る。」と高評価をいただいております。石膏鉗子は色々なメーカーから発売されていますが、この機会にこの高機能石膏鉗子を是非一度お試し頂きますようお願い致します。

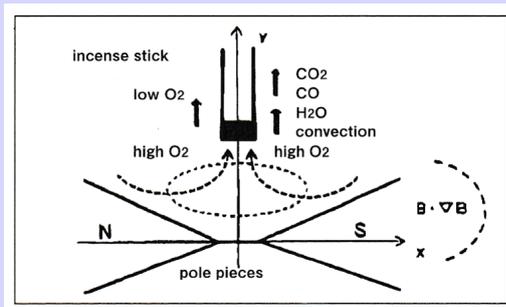
宮崎店 営業一課 山中 幸平

## 歯科医院経営を考える(513)

デンタル・マネジメント・コンサルティング  
稲岡 勲

## ～ 低温有機物分解炉の開発 ～

私的な話で恐縮だが、知り合いで40歳の若いころから低温有機物分解炉の開発に一生をかけてきた66歳の男がいる。仕事もせず、奥さんの稼ぎで生活し、まともな職に就かずに低温有機物分解炉の開発に一生をかけてきた男である。彼によれば磁性によって燃焼が増幅されるという理論的根拠は、19世紀(1861年)にファラデーの「ローソクの科学」によって発見されていたが、その後強力な永久磁石が開発されることによって研究が進み、独立行政法人産業技術総合研究所の若山信子氏によって空気流や燃焼反応制御等についての研究が進んだという。空気中の気体の多くは反磁性で、酸素のみが常に磁性を持っているという。この酸素の磁性への吸引力により高酸素濃度の流れが加速され(これを「空気整流」という)強い磁性の中では燃焼力が強まり燃焼が促進されるという。(模型図参照)この理論の面白いのは、一般的な酸素と空気とで燃焼させるという考えではなく、高濃度の酸素の中で燃やす物体の分子を分解するという点にある。無磁場の場合に比べて2倍強の燃焼速度を達成し、更に燃焼促進のためのランニングコストがゼロになるということである。高温燃焼の場合は燃料費等のランニングコストが非常に高くなるとともに、化石



〈図〉強磁場による燃焼促進の概念

燃料を燃焼させるために多量の炭酸ガス、ダイオキシン等有害物質を多量に排出するが、この低温有機物分解炉は、整流した空気の中で最低限の酸素で燃焼し、炎を出さずに蒸し焼き状態で廃棄物を灰にするという。ただ低温状態で処理されるために還流ガスが発生するが、この還流ガスを燃料として活用することでボイラーの熱源に応用するという。面白い考えの炉だから何とか実現させてやりたいと思い、クラウドファンディングで資金を集め、実験にこぎつけたいと老体に鞭打って頑張っているところである。

(つづく)

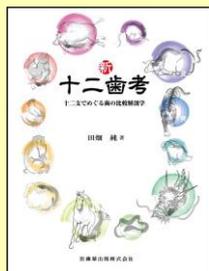
※玉手ニュース 2020年 7月号より転載。

## New Books &amp; Video

## ★今週の新刊

## 『新 十二歯考』

～十二支でめぐる歯の比較解剖学～



1993年発行の『十二歯考一歯が語る十二支の動物誌(大森司紀之著)』の新編として、2017年より『歯界展望』に連載された「新・十二歯考—十二支でめぐる歯のかたちづくり」の待望の書籍化。動物たちの頭蓋骨、組織標本をダイナミックに展開し、解剖学・組織学・発生学の知識アップとともに、歯の世界を大きく広げる情報が満載の一冊。

- 著 = 田畑 純
- 出版 = 医歯薬出版
- 価格 = 5,000円 + 税

## 『ペイント番長直伝！

最薄で最大の成果を出す表面ステインテクニック』



表面ステイン法のノウハウ(必要な基礎知識を含む)をイラストと写真で親しみやすくビジュアルに解説。また、ステップ by ステップで具体的なステイン手順やそのコツやポイントについて、さらには初心者陥りがちなトラブル防止策を徹底詳説。モノリシック補綴物のキャラクタライズに焦点を当てた入門書。

- 編著 = 横田 浩史
- 出版 = 医歯薬出版
- 価格 = 9,000円 + 税